

競技上の確認事項

* 下記の確認事項以外は、JBA基本規定および各種規定による

1 競技上の規定及び方法

- (1) 男女とも16チームによるトーナメント方式とする。
- (2) 試合球は合皮試合球とする。
- (3) 同じチームのプレーヤーは同色のユニフォームを着て、前と後ろに番号をつける。
ただし、1番から3番までは使用しない。
- (4) 各チームは、濃淡2色のユニフォームを用意する。
- (5) ディフェンスは、マンツーマンディフェンスの基準規則に則る。コミッショナーをつける。

2 試合時間について

- (1) ハーフタイムは、全試合5分とする。(次の試合のチームはハーフタイムにコートでの練習を行わない)
- (2) 延長戦は、競技規則どおり行う。ただし、第1延長で攻めるゴールは後半と同じ側とする。
- (3) 前の試合の終了時間が遅れた場合は、試合終了後10分後に次の試合を開始する。
- (4) ショットクロックは24秒とする。14秒リセットを行う。
- (5) 全体の試合日程及び試合時間は「バスケットボール事業の再開に向けたガイドライン」に準じて行う。

3 チーム構成、ベンチについて

- (1) チームの構成は、チーム関係者(コーチ、アシスタントコーチ、マネージャー、関係者各1名)と登録選手(15名以内)の合計19名以内とし、他の者はベンチに入ることはいできない。
- (2) 登録された競技者が10名未満のチームに対しては、8名による試合成立を認める。ただし、登録数が10名を超えるチームに対してはこれまで通りの規定を適用する。
- (3) ベンチは、組み合わせ表の若い番号チームがT・O席に向かって右側とする。また、前半で攻めるゴールは相手チーム側とする。
- (4) ベンチエリアを設ける。各チームのベンチエリアは、スコア記録用機の位置から自チーム側エンドラインまでを範囲とする。
- (5) チームベンチ前で移動しながらコーチングできるのは、腕章を付けている指導者1名とする。
- (6) 試合中(プレイ中)にベンチエリアから出てウォーミングアップ等を行ってはいけない。
- (7) ベンチ内での応援の際、メガホンなどの道具は使用しないこと。

4 ユニホームについて

- (1) 各チームは、濃淡2色のユニホーム(上下同色)を準備する。なお、原則として淡色は、白色とする。(Tシャツやアンダーガードメントを着用する場合は、ユニホームと同系色とする。)
- (2) 組み合わせ表の若い番号チームが淡色を着用する。ただし、対戦チームと相談の上、濃淡を交換してもよい。その際は試合前に必ず審判員に報告することとする。

5 交代や出場選手の登録について

- (1) 各クォーターの出場選手登録は、必ずT・O席前に並んでチェックを受けること。
- (2) 第1クォーターの出場選手登録は「3分前」、第2、3、4クォーターの出場選手登録は、前クォーターの終了直後に済ませること。
- (3) 交代時間の1分になったら、選手はただちにコートに出ること。
- (4) 出場選手が出血やけがをした時は、短時間(30秒程度)の応急処置で完全に止血・回復したと審判が認めた場合のみ、そのまま出場を認める。ただし、症状や治療に時間を要すると審判が判断し交代を命じた場合は、コーチは選手を交代させなければならない。

6 チャージドタイムアウトについて

- (1) 各クォーター1回ずつの取得を認める。1回のタイムアウトは45秒間とする。
- (2) チャージドタイムアウトの請求は、必ずT.O席前に行って明確に行うこと。
- (2) 選手は全員チームベンチエリア内に入ること。

7 その他

- (1) 試合球は、合皮ボール5号球とし、主催者で用意する。
- (2) コート以外の会場及び施設内では、ボールを使用した練習はできない。
- (3) チームの指導者は、ベンチエリアに限らず、ベンチ外での応援にも気を配り、試合運営上のマナーを守るよう働きかけること。
- (4) 試合中の水分補給は、倒してもこぼれない容器以外の使用は不可とする。
- (5) チーム関係者(応援席も含む)は、ベンチ、応援席等の持ち物を確認し、ゴミは必ず全て持ち帰ること。
- (6) 会場内の子供用遊戯施設等は使用しないこと。
- (7) 貴重品等は、バッグ等に入れず身に付け、盗難等にあった場合は個人の責任とし、主催者及び会場担当者は責任を負わない。
- (8) 迷惑駐車にならぬよう、マナーを守ること。